

# ふくい社会福祉



Fukui Social Welfare



## 9月は「ボランティア月間」



第2回全国ボランティアフェスティバル（平成5年度）の本県開催を記念して制作されたシンボルモニュメントが、福井市中央1丁目の通称・三角地帯の西端のスペースに建てられています。

福井地震で片腕を失いながらも生き延び、創作活動を続けた彫刻家、加藤恒勝さんの作品です。近くにお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

(2.3Pにボランティア月間関連特集)



## CONTENTS

### 2,3P **特集** 楽しみながら理解促進 ボランティア月間啓発イベント

4P 案内 ◆ 10月1日より共同募金運動が始まります

5P 報告 ◆ トップセミナー開催  
案内 ◆ 保育ブロックセミナー案内

6P 案内 ◆ 介護入門的研修・  
「ちょこっと就労」就職面談会案内  
案内 ◆ 保育関係者おしゃべり広場開催

7P 連載 ◆ みんなdeつながろう！ Vol.8

8P 報告 ◆ まごころ基金助成団体・  
子ども未来支援事業助成団体決定

9P 広告 ◆ ボランティア活動保険

10P 報告 ◆ パリパラリンピックで県勢躍動  
案内 ◆ 第71回福井県社会福祉大会のお知らせ  
報告 ◆ 寄付・寄贈



# ボランティア月間 啓発イベント



本会は9月のボランティア月間にちなんで福井市内のショッピングセンター2カ所で、PRイベントを開催しました。多くの来場があり、さまざまな体験を楽しみながらボランティア活動に対する理解を深めました。



ショッピングシティ・ベルの会場



ボッチャ体験コーナー



ラブリーパートナー・エルパの会場

## ランテイーと 推しボラ見つけよう!

福井県ボランティアセンターでは、平成3年度から9月を「ボランティア月間」と定め、毎年度スローガンを掲げて、県民に広くボランティア活動に対する理解と参加意欲の促進を図るための普及啓発を重点的に進めてきました。

また、ボランティア月間制定20周年にあたる平成22年度からは、市町社会福祉協議会や関係機関・団体との協働により、ボランティア活動を通じて「つながりと支え合う社会の『価値や豊かさ』を実感できる一貫性をもった県民総参加運動」としての「つながれボランティアの輪」推進運動を展開してきました。

今年度の推進運動のポイントの1つ目は、特に若い世代を対象にボランティア活動への関心を高めることにあります。「ランテイーと推しボラ見つけよう!」をテーマに、若い世代で一般化している「推し活」(自分にとってイチオシの人やキャラクター)に「推し」をさまざまな形で応援する活動の(こと)を参考に、「推したいボランティア活動」に「推しボラ」を見つけてることをコンセプトにしています。

若い世代をターゲットにしている理由は、本県の15〜24歳の世代でボランティア行動者率が、他のどの世代よ



▶ランテイーの  
アクリルスタンド

りも低いことに加え、全国との比較においても低位であるからです。

総務省の「社会生活基本調査」では、本県のボランティア行動者率は、全国で上位ですが、その率は平成28年の32.2%から令和3年の21.7%へと低下しており、中でも若い世代(15〜24歳)のボランティア行動者率は、5.5%(令和3年度)と全国最下位になっています。

こうした状況を踏まえ、県ボランティアセンターでは、若い世代のボランティア行動者率が低い理由とボランティア活動に対する意識や意欲を把握するため、「若者のボランティア意識に関するアンケート調査」を10月末まで実施しています。若い世代が参加しにくくなるボランティア活動や参加しやすい環境を整えていくための基礎資料として、15〜24歳の各年齢からの回答を得るため、県内の高校や大学への協力を依頼のほか、市町社会福祉協議会等の関係機関を通じて、アンケート調査への協力を呼びかけています。

アンケートはこちらから



# 楽しみながら理解促進

認知症VR体験コーナー



ランティーと記念撮影



ランティーもバルーンアートに挑戦



ランティーとふれあう子どもたち

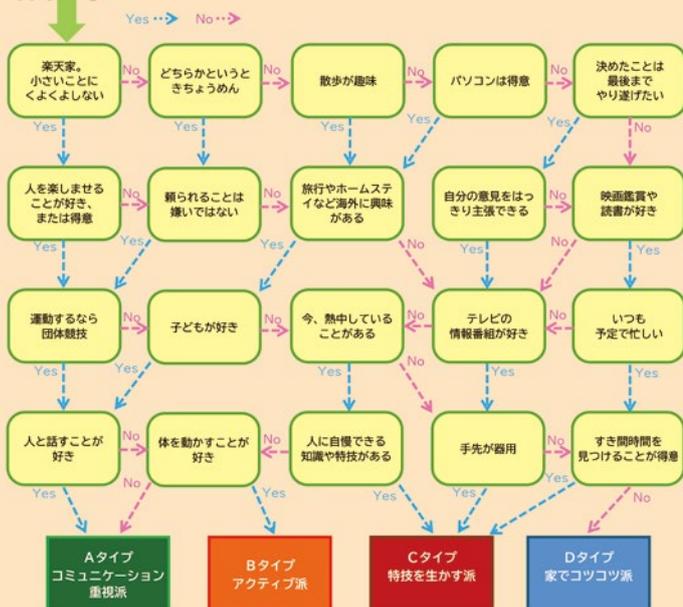


## ボランティア適性診断テスト

ボランティア活動をはじめてみたい皆さん、チャートで自分に合ったタイプのボランティア活動を見つけてみましょう。

出典：鹿児島県社会福祉協議会ボランティアセンター発行「私のボランティア手帳」より抜粋、一部修正

スタート！



### おすすめのタイプを診断

推進運動の2つ目のポイントは、「ボランティア適性診断」でおすすめたボランティア活動を紹介したり、体験したりしていただく取り組みです。

9月7日(土)に福井市大和田のラブリーパートナー・エルパで開催したPRイベントでは、買い物等に來られた方にお声がけして、チャート式の簡単な質問で「コミュニケーション重視派」、「アクティブ派」、「特技を生かす派」、「家でコツコツ派」の4タイプを診断し、それぞれのタイプにおすすめのボランティア活動を紹介しました。

自分が思っていたものとは違うタイプの診断が出ることもあり、向いているとすすめられたボランティアに興味をもっていただく機会になりました。

さらに、この日はボッチャ体験、認知症VR体験、バルーンアート体験など、ボランティア活動にも役立つ体験コーナーや、マスケットキャラクター「ランティー」とのふれあいに多くの方の来場がありました。今後は、大学の学園祭などでもPR活動を行う予定です。これらの活動を通じて、若い世代も含めた多くの県民のボランティア活動への関心の高まりや具体的な出番づくりに取り組んでいきます。

# 10月1日より共同募金運動が始まります。

ご協力をお願いします

## 赤い羽根共同募金とは…

- 共同募金はじぶんの町を良くする募金です。
- お年寄りや障がいのある人、子ども達やその親など、助けを必要としている方々のために役立てられます。
- 災害の時は、災害ボランティアの支援に役立てられます。



## 福井県の目標額

一般共同募金	109,419,000円
地域歳末たすけあい募金	24,694,000円
NHK歳末たすけあい募金	8,000,000円
合計	142,113,000円

赤い羽根募金のつかいみち  
赤い羽根データベース  
**はねっと**



<https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/homePref?data.prefCd=0018>

赤い羽根アプリは下のQRコードからダウンロードできます。



赤い羽根アプリ

<https://www.akaihane-appli.com>

### 災害時の準備金

被災地で災害ボランティアを支援する活動に  
4,200千円

### NHK歳末たすけあい

年末に行う高齢者、障がい者、子育ての支援に  
8,000千円

### ふくいを良くする活動

広域的な活動を行うボランティア団体やNPO、福祉団体の活動に  
38,300千円

高齢者サロン



生活にはりができ  
健康になりました

### じぶんの町を良くする活動

市町の福祉活動の支援や福祉のまちづくりを行う社会福祉協議会の活動に  
66,919千円

障がい者の就労支援



自分の仕事に誇りをもち、  
自信となり、日々の作業の  
励みになっています。

地域歳末  
たすけあい  
年末年始に行う高齢者、  
障がい者、子育ての支援に  
24,694千円

## 赤い羽根アプリの特長

- ★お得なクーポンでお買い物
  - ★「町が良くなる」を見える化
  - ★領収書を発行します
  - ★いままでの募金を一目で管理
- ※従来のご優待カードも使えるようになりました

## ありがとうのメッセージ

### ふくいこどもホスピス

#### 「闘病中の子どもと家族の笑顔が広がりました」

闘病を経験された子どもと家族が集う「かぞく会」のイベントを開催しました。子ども達はプール遊びや風鈴、クリスマスツリーなどを制作するワークショップや、着物の着付けなど、ふだん家庭ではできない体験をたくさん提供することができました。これからも継続して子どもたちに寄り添い、いつでも相談し合える関係であり続けたいと思います。今後とも、皆様からの温かいご支援をよろしくお願いいたします。



募金の  
お問い合わせ

社会福祉法人福井県共同募金会 もしくはお住まいの市町の共同募金委員会へ  
〒910-0026 福井市光陽2丁目3-22 TEL:0776-22-1657 FAX:0776-22-3093

# 災害支援でつながる社会福祉法人

能登半島地震における被災地支援の取組みを共有する

8月21日(水)、福井県生活学習館(ユニーアイふくい)において、「令和6年度社会福祉法人トツプセミナー」を開催しました。

災害を切り口に社会福祉法人間のつながりづくりをテーマとしたセミナーは、今回が初めての開催となりましたが、能登半島地震の発生により災害対応への関心が高まる中、県内社会福祉法人の役員約80名が参加しました。

基調講演では、関西の社会福祉法人を中心に、能登半島地震で被災した社会福祉施設・事業所への支援を行っている「能登福祉救援ボランティアネットワーク」共同代表の石井布紀子氏から、「被災地に寄り添い、能登で

踏ん張る社会福祉法人への支援と連携から見えてきたこと」というテーマで講演いただきました。

石井氏は、「能登半島地震では、広域避難の呼びかけに対して、利用者の状況から地元で踏ん張る選択をした社会福祉法人もあったが、そのような施設や事業所への公的な支援が圧倒的に不足していた」と話しました。また、「基幹産業である福祉介護事業に与えた影響も大きい」と指摘しました。

その後のリレートークでは、県社協、県老人福祉施設協議会、県身体障害者(児)援護施設連絡協議会、県知的障害者福祉協会から能登半島地震の被災地支援の取組みをご報告いただき、支援をする側・受ける側双方の課題を共有しました。



石井氏による基調講演の様子



リレートークの様子

参加者からは、今回のセミナーをきっかけに、市町単位での意見交換を望む声も聞かれ、まさに法人間のつながりづくりに向けたキックオフの機会となりました。

## 令和6年度東海北陸ブロック

### 次世代保育リーダー養成セミナー&保育士会セミナー

- 日時 令和6年11月19日(火) 10:30~15:30
- 場所 福井県協ビル10階「ホールAB」(福井市大手3丁目7番1号)
- 日程

午前もしくは  
午後からの参加も  
OKです



#### 次世代保育リーダー養成セミナー【10:30~12:00】

10:00~10:30

受付

10:30~10:40

開会・挨拶

10:40~12:00

説明「全国保育協議会人材養成会議とは(仮)」

【説明者】東海北陸ブロック保育協議会 会長 前田 武司 氏

実践報告「人口減少の観点から保育現場の人材育成を考える」

【報告者】石川県あいわこども園 園長 中川 昌訓 氏

講評「次世代育成施策、保育者の養成について(仮)」

【講師】仁愛大学 副学長 石川 昭義 氏

#### 保育士会セミナー【13:30~15:30】

13:00~13:30

受付

13:30~13:40

開会・挨拶

13:40~14:00

基調報告「全国保育士会活動について」

14:00~15:30

講義「能登半島地震に伴う子ども支援・

子育て支援の実践と今後の課題」

【講師】金沢大学教職大学院 准教授 鈴木 瞬 氏

【実践報告】石川県保育士会 会長 中田 実千世 氏

- 参加費 無料

- 参加申込 県社協ホームページまたは  
右記二次元コード(Googleフォーム)から必要事項をご記入いただき、  
10月31日(木)までにお申込みください。

- セミナー事務局 社会福祉法人福井県社会福祉協議会 経営支援課

TEL:0776-24-2347 FAX:0776-24-8942 E-mail:shisetsu@f-shakyo.or.jp



参加費無料

年齢・性別不問！シニア・主婦・学生さん大歓迎！

# 福祉施設での仕事や介護に関心のある方 介護入門的研修・「ちょこっと就労」就職面談会にご参加ください！

県内6会場で、介護の研修と福祉施設での補助的な仕事に関する就職面談会を開催します。介護の基本を学びたい！福祉施設で何か役に立つ仕事がしたい！そんな方は、ぜひご参加ください。

## 介護入門的研修

こちらの二次元コードからお申し込みできます▶

介護に関心を持つ方を対象に介護に関する相談窓口や介護保険制度、基本的な介護の知識についての研修会を行います。基本を知れば、福祉施設での補助的な仕事や家族介護にも役立ちます。

参加申込み

事務局あてに電話またはメールにて  
参加希望地区・氏名・生年月日・住所・電話番号をご連絡ください。



## 「ちょこっと就労」就職面談会

チラシはこちらからご覧ください▶

「ちょこっと就労」とは、福祉施設で食事の準備や後片付け、衣類の洗濯や部屋の掃除、シーツ交換、送迎車の運転など補助的内容の仕事なので、**特別な資格や経験は一切不要**です。**勤務時間も1回2～4時間、週2～4回程度**と短いので、あなたのライフスタイルに合わせた働き方ができます。



### ● 日程

地区	福井	坂井・あわら	高志・奥越	丹南	二州*	若狭*
日時	10月18日(金)	10月4日(金)	11月21日(木)	11月11日(月)	10月27日(日)	9月28日(土)
	【介護入門的研修】10:15～14:30 ※どちらか一方の参加も可能です。 【ちょこっと就労就職面談会】14:30～16:00 介護入門的研修は、事前申し込みが必要です。					
会場	福井市立図書館 地域交流センター (福井市文京2-7-7)	春江中コミュニティ センター (坂井市春江町 隨応寺17-17)	福井県立大学 永平寺キャンパス (永平寺町 松岡兼定島4-1-1)	市民プラザ たけふ (越前市府中1-11-2)	はあとぴあ (美浜町郷市25-20)	サン・サンホーム 小浜 (小浜市遠敷84-3-4)

※嶺南の二州・若狭会場は、就職フェアも同時開催！（自然災害等による実施の有無はホームページでご確認ください。）

※「ちょこっと就労」は雇用契約を締結するパートタイム労働であり、ボランティア活動とは異なりますのでご注意ください。

申し込み  
問い合わせ

## 福井県福祉人材センター

☎0776-28-3180 E-mail: jinzai-center@f-shakyo.or.jp

※福井県福祉人材センターは、福井県社会福祉協議会が運営する無料職業紹介所です。



## 保育者のみなさん！ おしゃべり広場 開催しています！

参加  
無料

潜在保育者、現役保育者、保育関係への就職を考えている方  
ゆったりお話ししながら、楽しく、明日の保育にも役立つ簡単な手作りグッズを作りましょう。

開催日	時間	会場	問い合わせ・申し込み先
10月22日(火)	13:30	福井県 社会福祉センター2F 身障第1研修室	福井県保育人材センター 福井市光陽2-3-22 福井県社会福祉センター内 ☎0776-21-8194 E-mail: jinzai-centet@f-shakyo.or.jp
12月17日(火)			
令和7年 2月25日(火)	14:30	白鬚再開発ビル3F 嶺南福祉人材バンク	嶺南福祉人材バンク 小浜市小浜白鬚112 白鬚再開発ビル3F ☎0770-52-7833 E-mail: r-jinzai@f-shakyo.or.jp

開催日前日までに各会場に電話またはメールでお申し込みください。

# みんなde つながろう!

このコーナーでは、県内の福祉活動に取り組み  
る皆様をご紹介します。

Vol. 8

第8回は若狭町で活動中の、「図書館ボランティア虹の会」(水江キヨ子世話役)です。

昭和60年代に発足し、現在のメンバーは10人。若狭町立図書館のリブラ館(リブラ若狭内)とパレア館(パレア若狭内)で、本の整理や本棚の清掃、町内の一人暮らしの高齢者ら向けの冊子【おげんきですか】(現在は季刊)の編集・配布にと日々奔走しています。中でも季刊誌の発行は通巻200号を超える息の長い活動となっています。

今回はパレア若狭で活動中のところにお邪魔しました。6人のメンバーが、雑巾で本棚の埃をふき取りながら、来館者が見易いように本を並べ直していました。傍らには勉強する学生や読書を楽しんでいる男性。しかし、コロナ禍も影響して利用する方はめっきりと少なくなつたそうです。

この日は図書館での活動に加えて、



パレア若狭内の会議室で、季刊誌の次号の編集会議と10月に開催される福祉と文化の祭典「ハート&アートフェスタ2024」への出店会議もありました。次号は700部の発行を予定。主に民生委員さんに一人暮らしの高齢者宅への訪問時に持参してもらおうほか、町内の病院や事業所、サロンへも配布します。

季刊誌の発行には若狭町社会福祉協議会が協力していますが、実はグループの活動資金は、補助金を受けずに年間1,000円の会費とハート&アートフェスタでの売上でまかなっています。それだけに、フェスタの企画には力が入ります。前年度に好評だったも

の、そうではなかったものを検証し、新しいアイデアを出し合つて議論を重ねています。今回はガラス瓶に乾燥させた花などを入れてオイル漬けにした「ハーバリウム」作りで盛り上がりました。

会議の後、メンバーの皆さんに  
お話を伺いました。

Q どのような方たちが  
参加していますか。

A 現役メンバーの最高齢は80歳代で、ボランティア歴は40年近くあります。若狭町は今年合併20周年となりますが、もともと三方町で活動していて、合併を機に上中地域の民生委員経験者や読書会のメンバーが加わりました。その際に加入したメンバーも現役で活躍しています。

Q 紙面づくりでどのような  
工夫をしていますか。

A 高齢の方が地域の事を思い出しやすい内容や口ずさめる歌の歌詞をはじめ、投稿も2つほど掲載しています。お料理レシピは、高齢者2人分で、調理が簡単で食べやすいものを心掛けています。このほかにも体操やクイズ、本の紹介(図書館便り)、ぬり絵など多様な内容としています。  
パソコンで作成された原

稿が出てくると、わざわざ手書きにしてもらっています。私たちはそれにこだわっています。どこ見たってきれいな物ばかりで、きれいな感じがすよね。手書きの温かさを感じられる方が開いてみたくなるでしょう?」

Q 活動への思いを  
聞かせてください。

A 先輩方からは「一人暮らしの高齢の方に寄り添う気持ちは絶対に忘れてはいけない」と厳しく言われてきました。

辞めようと思ったことはありません。毎号の季刊誌が出来た時の喜びがあって、仲間がいる。もっと仲間の結びつきが強くなって心強い冊子になっていけばいいなと思います。人生100年時代で1人になった時、こういうのを届けてくれる人がいたら嬉しいかなって。孤独じゃないって思うんじゃないかなと考えています。

## あとがき

「手書き」「手作り」「手配り」へのこだわりには、地域の高齢者と飾りなく向き合い、寄り添いたいとの思いが表れています。このような活動が地域の絆を深め、孤独を感じる方々にとって大きな支えになることは間違いありません。これからも応援しています!

令和6年度

# 子ども未来支援事業「子ども食堂等への助成」 および

決定

令和6年度  
(第34回)

# 福井県まごころ基金助成事業助成団体

子ども未来支援事業「子ども食堂等への助成」は、子ども未来応援バンク（下記参照）や松原ふれあい基金を活用し、地域における子どもの健やかな育ちのため、子どもの居場所づくりに取り組む団体や社会的養護児童の自立支援に対して助成するものです。そのうち子ども食堂等への立ち上げ助成は、平成28年度から昨年度までに、計16団体に助成を行っていますが今年度は、5団体に各200,000円の助成を決定しました。

「福井県まごころ基金」助成事業は、県内篤志家からの寄付金を運用し、県内の民間福祉団体等が実施する様々な社会福祉活動等に対して支援を行うことにより県内の地域福祉を推進するもので、平成3年以来、のべ995団体に対して合計1億7千万円を超える助成を行ってまいりました。今年度は、6団体に対して合計893,000円の助成を決定しました。



## 令和6年度子ども未来支援事業「子ども食堂への助成」助成団体

	助成団体名	活動地域
1	とうごうなかじま子ども食堂実行委員会	福井市
2	一般社団法人福インクル	あわら市
3	きんばらさん家の子ども食堂	大野市
4	非認知能力実践ラボ	福井市
5	Well to go 「にじいろカフェ」	福井市

## 令和6年度(第34回)福井県まごころ基金助成事業助成団体

	助成区分	助成団体数	助成団体名
通常助成枠	高齢者の福祉向上を通じた取組	1団体	友サークル 福井県社会就労センター協議会
	障がい者(児)の福祉向上を通じた取組	3団体	福井県嶺北親の会 福井県精神保健福祉家族会連合会
	地域全体の福祉向上を通じた取組	1団体	一般社団法人えちぜん自立サポート
チャレンジテーマ枠	子どもの貧困・貧困の連鎖をなくすための取組	1団体	こども食堂テラスネットワークふくい奥越、高志



## 「子ども未来応援バンク」は、

皆様の温かい思いを、子どもたちの未来へつなぎます



福井県社会福祉協議会が取り組む「子ども未来応援バンク」は、現金・物品等の企業・団体・県民の皆様からいただいたご寄付を、子どもたちの居場所づくりや自立に向けた支援につなげる取り組みです。皆様の善意が子どもたちの明るい未来、そして福井の明るい未来に繋がります。多くの方のご支援をお願いします。

### 現金の寄付

子ども未来支援事業の一環として、地域の子どもの食堂の立ち上げ費用を助成させていただきます。

また、児童養護施設入所児童や里親のもとで暮らす児童の就職や進学に必要な技能・資格取得等費用の助成に活用させていただきます。

### 物品等の寄付

寄付者のご意向を伺いながら、対象団体・施設などを調整し配分、必要とする子どもたちへつなぎます。

<令和5年度の寄付物品> 精米、食料品、ランドセル、子ども用品等



子ども食堂、ひとり親支援団体、児童一時保護所、児童養護施設等へ配分 ※本会による調整が困難な場合、適切な配分先へお繋ぎします。

### 令和5年度にご寄付いただいた団体等 ※順不同

- (株)平和堂様
- (一社)生命保険協会福井県協会様
- 今村証券(株)様
- 福井鋳螺(株)様
- (一社)福井県電業協会様
- (株)京呉服平田様、
- 明治安田生命保険相互会社様
- GenkyDrugStores(株)様
- ほか

### お問い合わせ先

福井県社会福祉協議会 総務企画課  
☎0776-24-2339  
E-mail : somu@f-shakyo.or.jp



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険



新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類感染症に変更されたことに伴い、「特定感染症重点プラン」を廃止して2つのプランとします。

**保険金額・年間保険料 (1名あたり)** 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

商品パンフレットは  
**こちらから**



(ふくしの保険)  
ホームページ

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から補償(*)		
地震・噴火・津波による死傷	×	○		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
	<b>年間保険料</b>	<b>350円</b>	<b>500円</b>	

\*特定感染症についても10日間の免責期間がなくなり、補償開始日から補償対象となります。  
なお、令和5年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は補償対象外となりました。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

**ボランティア行事用保険** (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

**送迎サービス補償** (傷害保険)

**福祉サービス総合補償**  
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03(3349)5137  
受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667  
受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

祝

# パリパラリンピックで県勢躍動

銅メダル 川上秀太さん

8位入賞 伊藤竜也さん

8月28日から9月8日までフランス・パリで開かれたパラリンピックに、本県から伊藤竜也さん（大野市出身、新日本工業株式会社所属）と川上秀太さん（福井市出身、株式会社アスピカ所属）が出場しました。川上さんは陸上男子100m（視覚障がいT13）で10秒80を記録し、銅メダルを獲得。伊藤さんも陸上男子100m（車いすT52）で8位入賞しました。



伊藤竜也さん



川上秀太さん

川上さんは予選を組2位、全体の3位で通過。決勝ではオーストラリアの選手と3位争いを演じ、ほぼ同時にゴールに飛び込む大接戦を制しました。福井県勢がパラリンピックのメダリストとなるのは、2008年北京大会の陸上男子400m（車いすT52）などで3つのメダルを獲得した高田稔浩さん以来16年ぶりです。伊藤さんは400mと1000mの2種目に出場しました。400mは決勝進出を逃したものの、100mでは組4位、全体の8位で予選を突破し、決勝では17秒91のタイムで8位入賞しました。両選手は今回の成績に満足しておらず、早くも次を見据えて決意を新たにしています。

## 第71回福井県社会福祉大会開催のお知らせ

日時 令和6年10月26日(土) 13:30~16:00

会場 福井県生活学習館（ユウ・アイふくい）

- 内容(予定)
- ①表彰式 (13:30~)
    - 福井県社会福祉協議会会長表彰 ●福井県共同募金会会長表彰
  - ②記念講演 (14:40~)

記念講演はどなたでも聴講可能です！

### 記念講演



テーマ 「パクンマクンと考えるこれからの多文化共生」

講師 パクンマクン [タレント]

#### 《講師プロフィール》

アメリカ出身のパトリック・ハーラン氏（パクン）と吉田 眞 氏（マクン）とのお笑いコンビ。1997年結成。異国コンビのバイオニアとして、漫才、コントに加え白米の差異を盛り込んだネタで人気を博す。現在はテレビなどのメディアでの出演を始め、15年以上前から国際交流や多文化共生などをテーマにした講演を精力的に行っている。パクンはふくいブランド大使・福井市観光大使、マクンはぐんま観光特使・富岡ふるさと大使として幅広く活躍中。

【講演参加申込】 右記の二次元コードまたは下記にてお申し込みください。  
 【問合せ・申込先】 (福)福井県社会福祉協議会 総務企画課 社会福祉大会担当  
 TEL：0776-24-2339 E-mail：somu@f-shakyo.or.jp  
 ホームページ：https://www.f-shakyo.or.jp/



## 寄付 寄贈

心温まる寄付・寄贈に心から感謝申し上げます。

7月19日

寄付者 株式会社 平和堂 様  
 ●寄付金 30万円

寄付先 福井県社会福祉協議会  
 (子ども未来応援バンク)



皆様の善意は有効に活用させていただきます。